

ワカバヤシ工務店の歩み

偶然の出会い

私は阪神淡路大震災がきっかけで神戸に移り住みました。

岡山で大工一家の手ほどきを受け、伝統工法を身に付けるとともに1987年の独立を経て、仕事が軌道に乗ってきた頃でした。



「今にも倒れそうな長屋を何とかしてくれる大工さんを紹介してほしい」と岡山のお客様の元へ被災された方が来られました。私はちょうど近所で仕事をしていたので、すぐに話を聞きに行きました。神戸は大工不足で依頼を受けてもらえなかったのが、知人に大工探しの相談に来たとのことでした。私は気の毒に思い、神戸へ向かうことにしました。



岡山から神戸へ

長屋が倒れそうだったのは、通し柱という構造上大切な柱が折れて傾いているからでした。古い建物だったので、倒壊すると法律上同じ広さの家を建てることはできません。

また、地主・家主・借主が別々と複雑な事情で、抜本的な解決が難しい状況でした。予算の都合もあいまって、補強で解決を試みることにしました。

ひょんなことから震災復興に関わることとなった私は、この街をこのまま去ることができず再び駆け出しの身となり神戸に移り住むことを決意しました。

その後、神戸で妻と出会いこの地に根を下ろし、外壁の修復や屋根の工事、傾きを直す工事などに明け暮れ、一方で伝統工法を活かした施工を手掛け、気が付けば私はこの町の大工になっていました。



あれから29年

神戸で生まれ育った娘と息子は社会人になりました。これからもここで住まいを守り、出来る範囲でお客様によりこんでもらいながらお付き合いを広げていきたいと考えております。

若林大工

伝統工法と在来工法の新築、ありとあらゆる工法のリフォームや欠損箇所の修繕を行ってきました。800件以上の経験から、生活の仕方に合った提案を心がけています。



ホームページを作った6年前までは事務専門でした。

なまじプロではない私が出来たことは、「使う立場」として大工とお客様の橋渡しをすることです。相談しやすい環境を作れたら嬉しいです。



相談室長の雅子

材木屋のバイトを経て、大工の親方へ弟子入りする

新築中心

震災被害家屋の修復と倒壊後の新築建設に明け暮れる毎日

ハウスメーカー

ハウスメーカーの仕事がほとんどだったが、そのおかげでたくさんのお客様の声を聴けた

暮らしに安心を

岡山で修行

独立

神戸へ移住

リフォーム中心

下請けから元請けへ戻る

かかりつけ工務店を目指して

伝統工法の技術を習得

親方の手伝いをしながら、単独で新築を建てるように

被害家屋の修復

リフォームは新築より大変！知識と経験が見込まれハウスメーカーから依頼が殺到

自分に出来ることは何か

大小様々なご相談に乗りながら、一緒に暮らしを育てていければ嬉しいです